



この移行支援シートは、お子様が高校生活をスタートする際に、中学校で受けていた配慮や支援を、進学先にお伝えするものです。
サポートファイル「かけはし」に合わせて綴じこんで御活用ください。

生徒の名前		保護者の名前	
在籍する中学校名		記入者	
進学する高等学校名		作成年月日	

中学校から高等学校への情報提供について了承します。

令和 年 月 日

保護者氏名 _____ (自署)

このシートは「高松地域特別支援連携協議会」での審議をもとに、高松市教育委員会で作成したものを、平成 27 年度から試験導入し、平成 29 年 1 月から本格運用を開始したものです。

1 進学後も継続して取り組んでほしい内容や配慮事項

これまで大事にしてきた指導内容・方法の工夫（環境や働き掛けの工夫、支援のこつ、情緒的に不安定になったときの対応など）や配慮事項などを該当する項目の番号を示し記入します。

	項 目	配慮・支援
健康・ 身体機能	健康面に関する配慮	
	視覚	
	聴覚	
	姿勢保持	
	移動	
	手指の動き	
	その他（ ）	
身辺処理・ 生活	食事	
	排せつ	
	衣服の着脱	
	片付け	
	用具の使用・活用	
	役割（手伝い、係活動など）	
	金銭	
	その他（ ）	
社会性・ 行動	指示や話の内容理解	
	意思の伝達	
	集団行動・遊び	
	決まりの理解や遂行	
	人とのかかわり	
	感情のコントロール	
	危険回避・危険予知	
	その他（ ）	
学 習	聞くこと	
	話すこと	
	読むこと	
	書くこと	
	計算すること	
	推論すること	
	描くこと	
	その他（進度、宿題の量、試験での特別措置等）	

2 興味・関心等について

項 目		主に中学校で行ってきた配慮・支援
興 味 関 心 等	得意なこと 好きな遊び	
	苦手なこと 嫌いな活動	
	禁忌事項	

3 進学後の学校生活に関する要望・期待等（保護者記入欄）

【資料】 各項目の観点例

項 目		各 項 目 の 観 点 例
健康・ 身体機能	健康面に関する配慮	睡眠、栄養、生活リズム、呼吸、体温、脈拍、てんかん
	視覚	視力、視野、色覚、光覚、眼球運動、斜視
	聴覚	呼び掛けや音への反応、聴力、補聴器、人工内耳
	姿勢保持	首のすわり、寝返り、座位、立位、姿勢変換、変形
	移動	歩行、車いす、歩行器、杖使用、階段、
	手指の動き	指の開閉、つかむ、持つ、操作する、巧緻性
	その他	清潔、衣服の調節 など
身 辺 処 理 ・ 生 活	食事	好き嫌い、はし等の使用、そしゃく、えん下、食事の形態
	排せつ	排便、排尿、導尿、排便後の処理、手洗い
	衣服の着脱	着る、脱ぐ、ハンガーの使用、くつを脱ぐ・履く
	片付け	学習用具の整理、衣服の整理、掃除用具の整理
	用具の使用・活用	はさみやのり、筆記用具、諸器具
	役割	手伝い、係活動
	金銭	お金の理解、買い物、自動販売機の利用、貯金
その他	あいさつ、自然へのかかわり、スケジュールの理解や変更など	
社 会 性 ・ 行 動	指示や話の内容理解	指示の理解・遂行
	意思の伝達	言葉、視線、指さし、身振り、サイン、絵・文字カード
	集団行動・遊び	学校行事への参加、遊びの様子（一人遊び、平行遊びなど）、遊びのルール
	決まりの理解や遂行	順番、学校等の決まり、公共施設の利用
	人とのかかわり	視線の共有、家族とのかかわり、教師や友達とのかかわり
	感情のコントロール	多動性、衝動性、パニック
	危険回避・危険予知	交通ルールの遵守、危険な場所への立入、火気や刃物の使用、異食
その他	こだわりの有無 など	
学 習	聞くこと	聞き違い、聞きもらし、集団の場での聞き取り、話し合いへの参加
	話すこと	話す速さ、単語の羅列や語いの少なさ、筋道立てた話、分かりやすい伝え方
	読むこと	読み間違い、語句や行のとばし、音読の速さ、要点の読み取り
	書くこと	文字の形や大きさ、筆順、細部の間違い、句読点の使用、作文力
	計算すること	学年相応の数の理解や表記、計算力、文章題の理解
	推論すること	事物の因果関係の理解、目的に沿った行動の計画、必要に応じた修正、早合点や考えの飛躍
	描くこと	図形の模写、見取り図や展開図の理解、人や物の描画
その他	身近な生活に関する知識や理解（生き物、地図など）、音楽 など 学習進度、課題や宿題の量の調整、テスト（試験）時の特別措置等	